

非加熱食品切削機の開発

企業 / (株)石田鉄工所

研究者 / 前沢三郎 (成蹊大学工学部機械工学科教授)

発熱回転円板の冷却および等温化というコンセプトに基づき、ヒートパイプを組み込んだ具体的な食品加工装置としてまとめあげ、その有効性を確認する。

具体的には、かつお節を押し当てることで削り節を作り出す円盤状の刃物よりなる切削機を製作した。従来機が概ね250 ~ 300回転/分の能力が限界であったのに対し、試作機では500回転/分で稼動させても「風味」「つや」に変化が見られず、製品として充分通用するとの専門家の評価を得た。



試作品の外観